



## 電話のユニバーサルサービスに関する 親子見学・説明会



近畿総合通信局は、一般社団法人電気通信事業者協会との共催により、8月3日（月）に「電話のユニバーサルサービスに関する親子見学・説明会」を開催、13組39名の小中学生の親子らの参加がありました。

最初に、総務省総合通信基盤局料金サービス課の高久専門職から、ユニバーサルサービス制度そのものや同サービス維持の取り組みの概要など、映像を中心に説明がありました。

### まずはNTT西日本へ・・・

その後、【NTT西日本大阪中央ビル】に移動し、広報担当の山名課長から電話がつながる仕組みをわかりやすく説明していただきました。



NTT西日本での  
座学の様子

そして、「とう道※」という人が入れるほどの大きな地下トンネルを見学するグループとメガネ型デバイスなどの体験をするグループに分かれて見学しました。

体験グループでは、特に災害用伝言ダイヤルが人気でした。地震等の災害発生時、被災地へ向けての電話がつながりにくい状況（ふくそう）になった場合に提供されるもので、実際に「171」をダイヤルして、伝言の登録と再生を体験しました。また、衛星通信移動無線車を使って、衛星を介して通話をする経験もしました。

とう道ツアーでは、急な階段や細い通路を通過して地下30mほどまで行き、壁にあるたくさんケーブルや、先が見えないほど長く続くトンネルを見ました。天井の電気だけがずっと

先まで続くその景色を見た瞬間、

「わあー」と歓声があがりました。直径約3m、総延長は大阪市内だけで100kmほどある



衛星通信車や通信レスキュー車の説明を聞いている様子

そのトンネルの中は、空気がひんやりしており、子ども達は声を響かせるなどして、とても興奮して楽しんでいる様子でした。



とう道ツアーの前にヘルメットを着用する子ども達



災害用伝言ダイヤルを体験する子ども達

### 続いて大阪市消防局へ・・・

最後は、大阪市西区にある【大阪市消防局】へ向かいました。長田消防指令補の説明と「おおさかの消防」と題したビデオを見たあと、「指令情報センター」という大阪市内からの119番通報がつながるところを見学しました。前方には壁一面の大きな画面があり、大阪市内の地図が映っていました。また画面の端には、あべのハルカスやこちらの消防局に取り付けたカメラからの映像があり、通報を受けると、このカメラをズームさせて現場を確認するのだそうです。通報時は混乱して住所が言えない場合も多々あるそうですが、そういった時には、家の固定電話の側に住所を書いて貼っておいたり、外で通報した場合は、

コンビニの支店名や自動販売機に書いてある住所を見たりしてください、とのことでした。

そのあと、外に出て実際の消防車や救急車などを見せていただきました。職員の方の中には、オレンジ色の服を着た方と紺色の服を着た方がいますが、火を消すことができるのは紺色の服の方で、オレンジ色の方は救助隊といって救助をする部隊だそうです。

他にも、はしご車や特殊災害対策車など珍しいタイプの消防車もを見せていただき、最後はみんなで大きな声でお礼を言って、見学・説明会は終了しました。

解散場所に移動するまでのバスの車中では寝てしまう子ども達も多く、今日1日たくさん見て、学んで、楽しんでもらった様子でした。少し難しい話もあったと思いますが、夏休みの自由研究の助けになった…かな、と思います！

※とう道：地震や災害から主要な通信ケーブルを守るため、地下約30mの場所に設置した専用トンネル。



ユニバーサルサービス  
支援業務キャラクター  
ユニちゃん

消防車等を見学している様子

